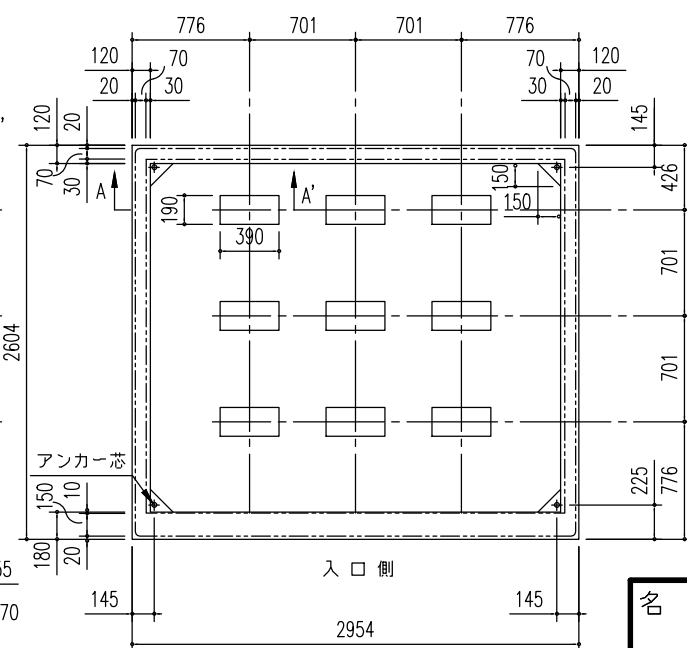
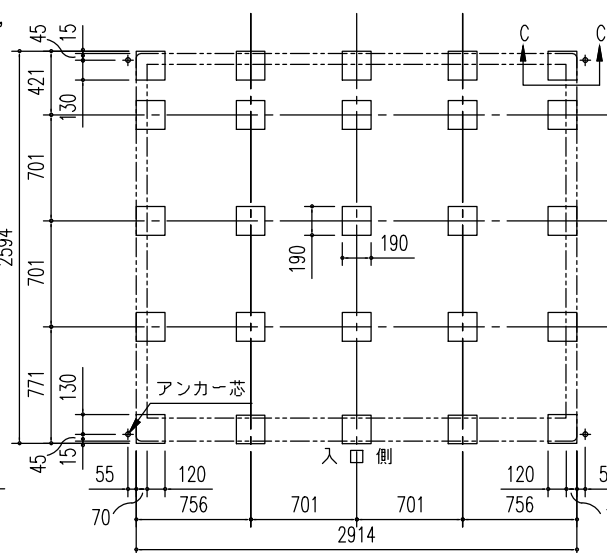
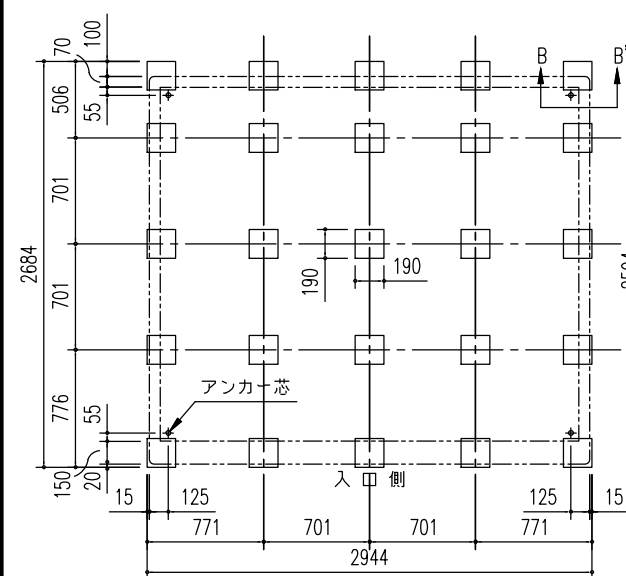
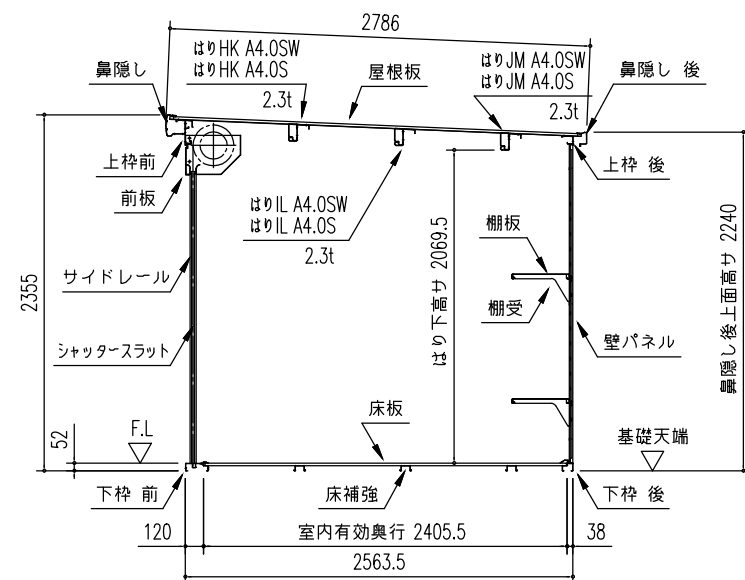
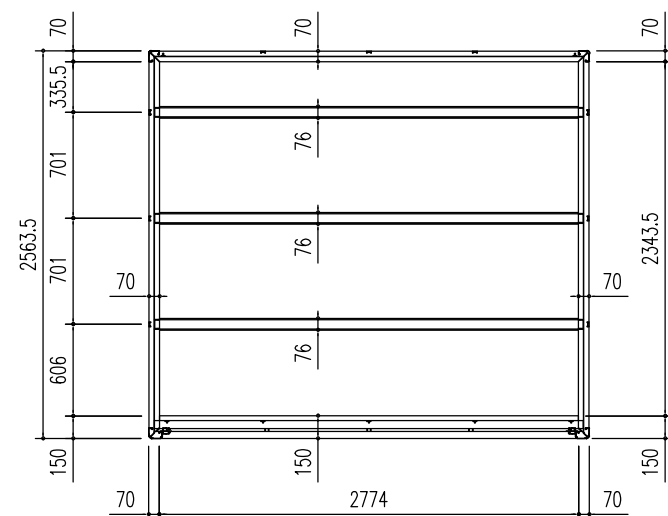
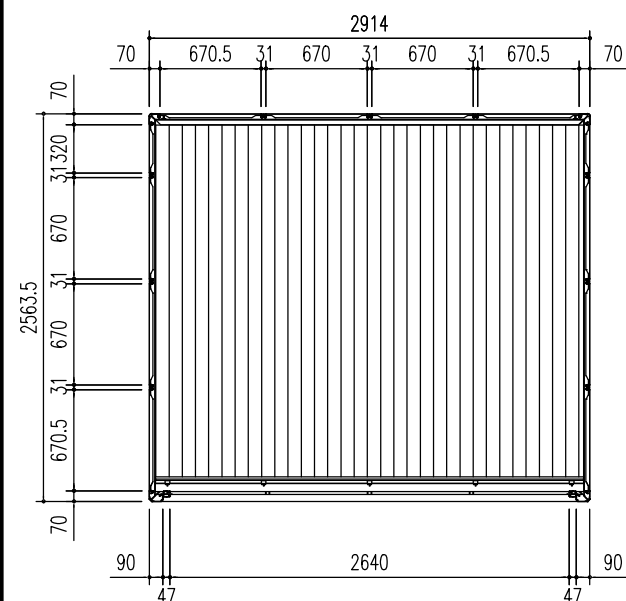
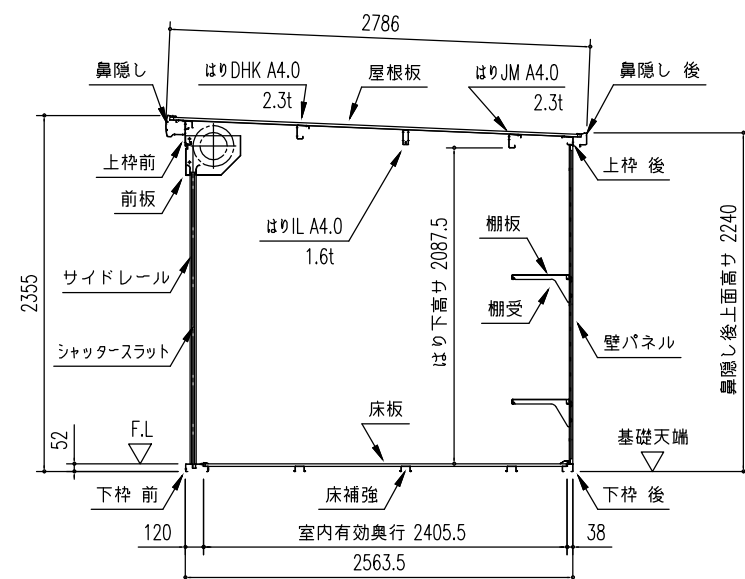
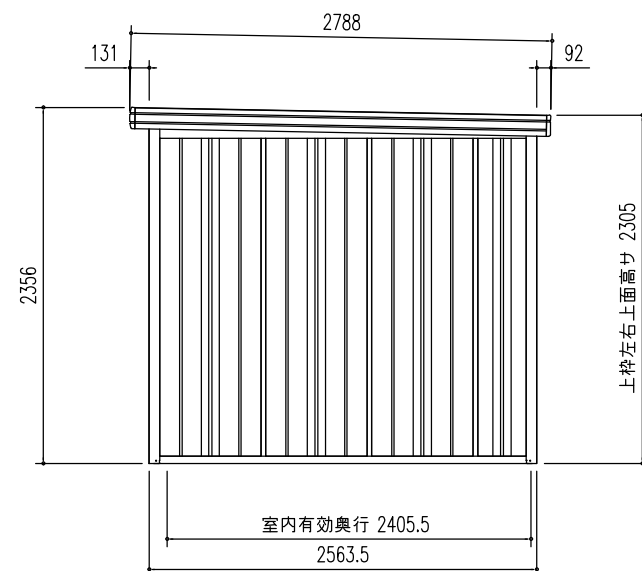
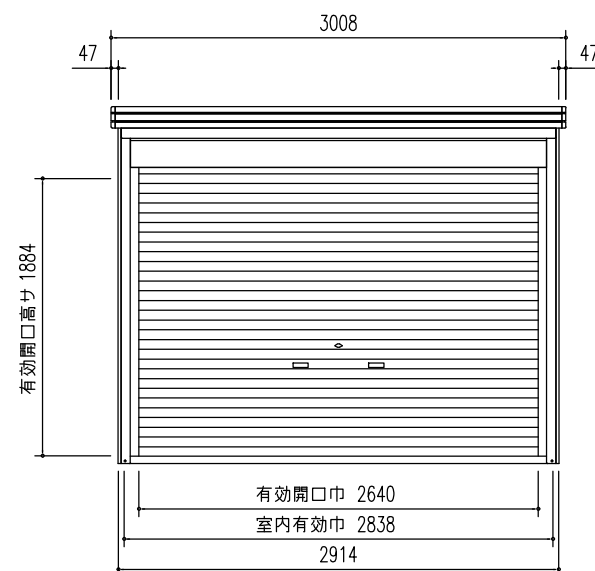
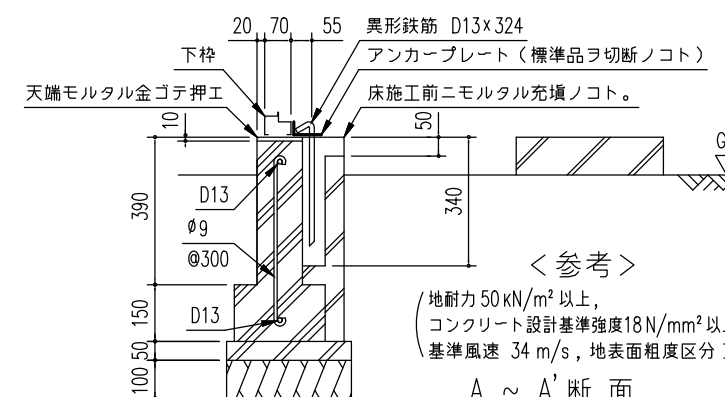




部 材 名	厚さ(□/mm)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
床 補 強	1.2	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
<一般型> はり DHK A4.0	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<一般型> はり LH A4.0	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<一般型> はり JM A4.0	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<横型型> はり HK A4.0SW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<横型型> はり HK A4.OSW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<横型型> はり LH A4.OSW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<横型型> はり LH A4.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<横型型> はり JM A4.0SW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<横型型> はり JM A4.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
下枠前・下枠側<横型型>	1.2	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
下枠後・下枠側<一般型>	1.0	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
上 枠 前 (後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
上 枠 左、右	0.8	塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ワットカラー)
上 枠 補 強	1.2	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
鼻隠し前	0.6	塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (ワットカラー)
鼻隠し後	0.6	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
柱・前、(後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
棚 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
前 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
シャッタースラット	0.6	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出形材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
間 柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
床 板	0.7	JIS G3322 塗装溶融555アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLC
アンカプレート	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (後塗装仕上げ)

部 材 名	サイズ（巾×高さ）
壁パネル H-A	670 x 2110
壁パネル H-F	319.5 x 2110



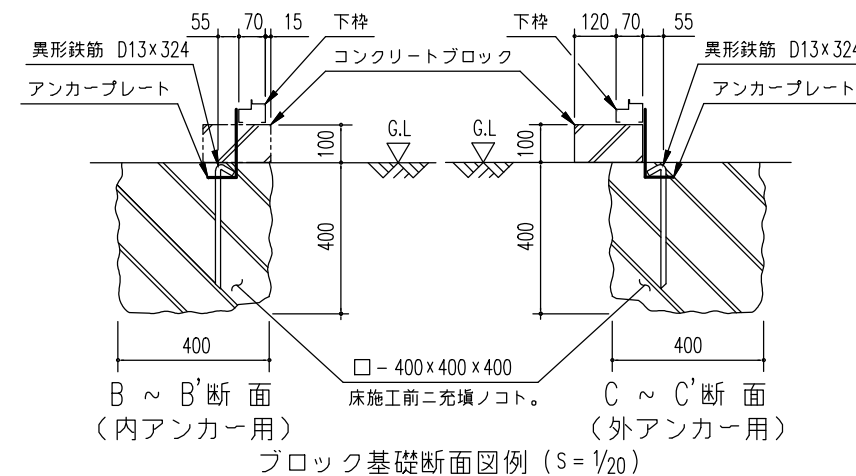
注1) 地耐力が 50 kN/m^2 未満 (30 kN/m^2 以上) の場合、底盤幅を 300 mm とし、かつ補助筋を入れて下さい。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



名 称	ヨド物置エルモ シャッター	
機種名	LOC(S) -2925HF 型<床タイプ>	